

会議名	平成 19 年度 第 7 回放牧サミット
開催日時	平成 19 年 9 月 27 日 28 日
開催場所	青森県十和田市・六戸周辺
主催者	( 社 ) 日本草地畜産協会
参加人数 ( 概数 )	1 5 0 名
1 . 会議の概要 ( 資料添付 )	<p>初日：放牧シンポジウム ( 全国の放牧を行う事例の紹介 )</p> <p>「基調講演」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放牧推進と施策の活用について 山口県農林水産部畜産振興課主査 島村 真吾</li> </ul> <p>「講 演」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放牧によってこれだけコストが下がる。特に飼料費の低減について ( 独 ) 農業・食品産業技術操業研究機構 中央農業総合研究センター 関東飼料イネ研究チーム 上席研究員 千田 雅之</li> </ul> <p>「事例発表」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共牧場における集約放牧と林間放牧技術とその効果について 青森県十和田市農林部畜産農地課 課長補佐 母良田 篤夫</li> <li>・水田放牧で低コスト・省力化の肉用牛繁殖経営について 岩手県一関農業改良普及センター 菊池 恭則</li> <li>・ゆとりある搾乳牛の放牧～牛を牛らしく、のびのびと飼いたい～ 北海道広尾町 小田牧場 場長 小田 治義</li> <li>・消費者と連携した放牧による肉用牛生産について 青森県北上県民局地域農林水産部畜産課 中村 郁恵</li> </ul> <p>「パネルディスカッション」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入飼料費高騰の今こそ放牧を</li> </ul> <p>2 日目：青森県内の放牧地の現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深持牧野 ( 水田放牧 ) 十和田市</li> <li>・十和田市営惣辺牧野 ( 集約放牧、林間放牧 ) 十和田市</li> <li>・坪毛沢牧野 ( 親子放牧 ) 六戸町</li> </ul>
2 . 今後の研究開発分野として重要と思われる課題・話題	<p>放牧を導入する場合</p> <p>和牛の繁殖では、飼養管理、特に、種付け、栄養分の充足率、運動量等から母牛の管理及び子牛の発育状況をデータ化すること、省力化システムの構築が必要。牛の管理上行動パターンの把握により事故の防止、発情時期の的確な把握が課題。</p> <p>また、草地については、維持管理経費と入牧料とのバランスが問題で、入牧料を低く抑えるため多くの場合助成を行っている。</p> <p>草種の選択、更新時期の的確な把握と実施が重要。</p>

3 .その他の発表 課題で関心のあ ったもの	牛の転飼による放牧強度の調整による草の管理が重要
4 .今後研究開発 課題採択に当た って参考とすべ き事項等	牛の行動管理の把握、データ化、省力的管理のため、分娩、発情時期の的確な把握、事故等の低減にかかる管理システム、器具機材の開発・技術の普及が急務
5 . 会議の所感	
報告者	塩田 忠